



RI District. 2660 Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20



会報 No.2444
2020年1月23日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2660地区2019-20年度ガバナー 四宮 孝郎

2019-20年度 会長：林 たかみ 幹事：片山 秀樹 広報・会報委員長：浦 収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

◆今週の例会プログラム◆ 2020年1月23日(木)第2445回例会 卓話 米山奨学委員長 川端 崇且 会員	◆次週1月30日(木)は休会日です◆ ◆次々週の例会プログラム◆ 2020年2月6日(木)第2446回例会 卓話 水島 教絵 会員
◆ロータリーソング◆ 奉仕の理想	◆出席報告2020年1月16日2444例会◆ 会員数：26名 出席者：14名 出席率 60.86% 前々前回 2019年12月26日 82.61% (参考値)

◆会長挨拶◆ 会長 林 たかみ

今月は職業奉仕月間となっております、本日の卓話は西脇委員長さんをお願いしております。よろしくお願いいたします。

さて、私は職業奉仕とは別のお話しをしようと思えます。ガバナー月信1月号に大阪アーバンRCから溝畑さんという方がパキスタンにポリオの予防接種デーに行かれたことが載っておりました。現在、ポリオの発症があるのは世界でもパキスタンとアフガニスタンの2か国となっておりますが、12月16日から20日までの5日間にパキスタンでは全国予防接種デーとして、国中の5歳以下の3,960万人の子どもをターゲットにdoor-to-doorキャンペーンでたくさんのチームに分かれてポリオワクチンが投与されました。日本のRCからは溝畑さんを含め13名のかたがロータリー財団のお世話でチームを組み参加され、カラチという町のスラム街を小銃を持った警備に守られての活動を行ったそうです。戸別訪問では、台帳を持った女性のポリオ・ワーカーが各戸をノックして入っていき、子どもが出てくると冷蔵ボックスに保存したワクチンを2滴、滴下、滴下が済むと左手の小指にマーカーで印をつけ、ドアの壁には、訪問の記録をチョークで記載していったそうです。高速道路では人を満載したバスを軍が止め、子どもを探し出してワクチンを投与し、24時間体制で1日に3000人の投与をしたとのことでした。また、駅でも到着する列車から降りてくるもの凄い数の人の中から子どもを見つけ、ワクチンが投与されました。

少し前ですが、2018年5月の朝日新聞にもポリオ根絶最後の闘いという見出しでパキスタン北部の遊牧民の子どもにワクチンを接種する記事が載っていました。ワクチン接種は複数回行う必要があるため、遊牧民を追いかけて居場所を探して接種をするという大変なことが行われているそうです。その記事の中でも最大の壁は治安だと書いてありました。2011年、アメリカが偽の予防接種チームを仕立てて国際テロ組織アルカイダのビンラディンの潜伏先を絞り込んだとされるため、チームは武装勢力から「米国のスパイ」と敵視されるそうで、ポリオ対

策事業を狙った襲撃の犠牲者は60人を超えたということです。

溝畑さんは今回実際に参加されて、ポリオ根絶に携わるワーカーの献身には頭の下がる思いと、あふれる貧しい人々の世界があること、ポリオ根絶には人、お金の両方の協力がなにより必要と実感されたそうです。

先週もお願いしましたが、ポリオ撲滅には皆様からの貴重な奉仕金が不可欠です。ポリオ撲滅への奉仕金、まだの方はぜひともご協力をお願いいたします。

◆幹事報告◆ 幹事 片山 秀樹

- 2019-20年度 ハワイ・ホノルル国際大会『日本人親善朝食会』のお知らせ
国際ロータリー年次大会 (2020年6/7~10)
2020年6/7(日)『日本人親善朝食会』開催。
- 茨木西ロータリークラブ例会場変更のお知らせ
3月4日よりホテル阪急エキスポパークから千里阪急ホテルに変更となります。
- 卓話者の変更のお知らせ
1/23 川端会員、2/6 水島会員となります。

◆SAA報告◆ SAA 庄司 修二

ニコニコ箱

庄司修二会員：卓話よろしくお願いします。
西脇 悟 会員：下手な卓話よろしく！
芝野弘三郎 会員：西脇委員長、卓話よろしくお願いします。
前田建司 会員：西脇委員長、卓話楽しみにしています。
浦 収 会員：西脇さん！よろしくお願いします。
川端崇且 会員：寒いですね。
木村知也 会員、片山秀樹 会員

米山奨学会

林たかみ 会員、河野優作 会員、西脇悟 会員、芝野弘三郎 会員、前田建司 会員、浦 収 会員、

ロータリー財団

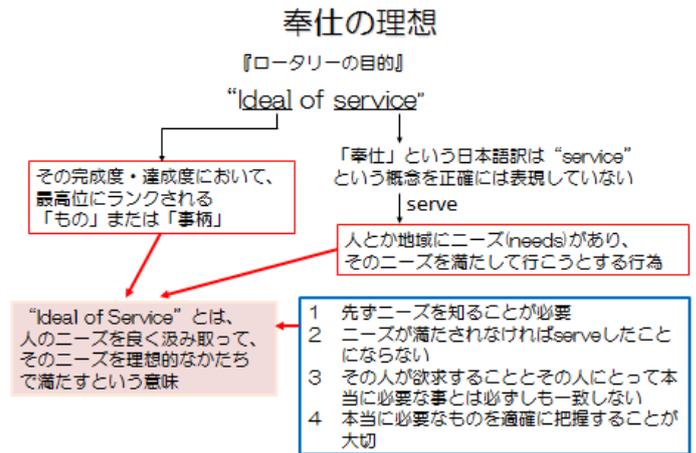
浦 収 会員、前田建司 会員、芝野弘三郎 会員、西脇悟 会員、庄司修二 会員、西宮富夫 会員、木村知也 会員、河野優作 会員

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

◆卓話 職業奉仕委員長 西脇 悟◆

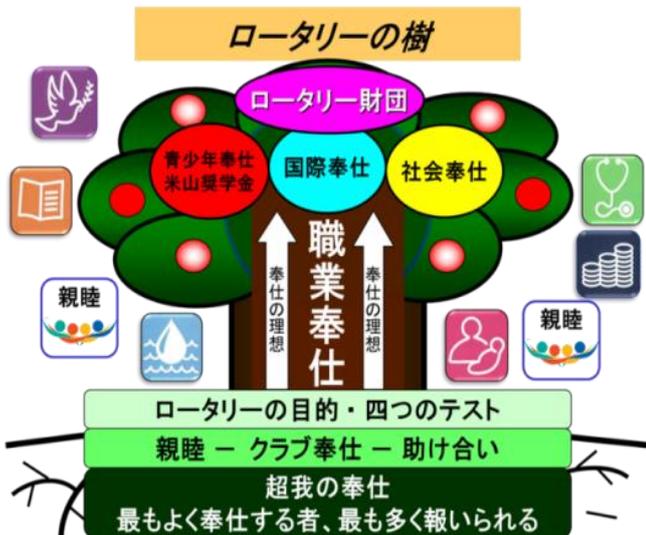
『知っておきたい 四大用語』



二つのモットー（標語）

- 1 職業奉仕理念
最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
(One profits most who serves best)
- 2 人道的奉仕活動の理念
超我の奉仕
(Service above self)

第1「ロータリーの樹」



第2「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

1910 全米ロータリー大会（シカゴ）～1911（ポートランド）
アーサー・フレデリック・シェルドン
He profits most who serves his fellows best
1921年、シェルドンが
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
(He profits most who serves best)
に修正し、行動理念として提唱。
→2004年の規定審議会でHeをThey、
2010年の規定審議会でTheyをOneに。

職業奉仕の理念

決議第23-34 第1条

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は - 「超我の奉仕」 - の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。

「ロータリーの樹・2008」 → 2013年RI規定審議会で採択

「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、H.テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、A.シェルドンの『超我の奉仕』『最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを一枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく「行動の哲学」なのであります。」



☆ロータリー財団より功労者への感謝状☆
第1回 浦 収 会員
第2回 (マルチプレ) 片山 秀樹会員

☆庄司 修二会員 御子息ご結婚☆



おめでとうございます！

